

八王子市教育委員会 殿

学校名 八王子市立横川小学校  
校長氏名 松井 尚美 公印

### 令和8年度 特別支援教室の教育課程について（届）

このことについて、八王子市立学校の管理運営に関する規則第16条により、学校教育法施行規則第140条の規定に基づく、特別支援教室による指導を下記のとおりお届けします。

#### 記

#### 1 特別支援教室の教育目標

学校の教育目標

- ◎知：自分からすすんで学ぶ子供（自ら課題を見付け、主体的に解決していく児童「課題解決力」）
- 徳：思いやりのある子供（多様な考えを理解し、協力・協働して社会に参画する児童「社会形成能力」）
- 体：からだをきたえる子供（自分で自分を指導していく児童「自己指導能力」）

を受けて、特別支援教室では以下の教育目標を設定する。

- （1） 個別最適な課題設定を行い、スモールステップで成功体験を積み重ね、自己肯定感を高める。
- （2） 学校生活を安定させ、将来の社会生活で良好な関係を築くために、自己理解と他者理解を深め、コミュニケーション能力や協調性を育み、集団適応能力を伸ばす。
- （3） 児童自身に自己選択・自己決定させる機会を設け、自分の行動に対する責任感と主体性を育む。

#### 2 教育目標を達成するための基本方針

- （1）巡回指導教員と在籍学級担任、特別支援教育コーディネーター等との協働により指導の充実を図る。
- （2）保護者と共に作成した学校生活支援シートを基に連携型個別指導計画を作成し、児童一人ひとりの特性の状態等に応じたきめ細やかな指導を行う。
- （3）特別支援教室専門員による校内における連絡・調整を行い、指導内容の充実を図る。
- （4）巡回相談心理士等による指導・助言、支援を効果的に活用し、児童の集団適応能力の伸長を図る。

#### 3 指導の重点

- （1）自立活動について、児童一人ひとりの困難さに基づき、人間関係の形成やコミュニケーションの基礎的能力の伸長を中心に指導を行う。
- （2）在籍学級における学習内容のうち、適切に身に付けるべき各教科、領域における基礎的・基本的内容について、自立活動と関連付け、特性に応じた指導を行う。

#### 4 その他の配慮事項

- （1）指導時間については、学習・情緒・行動面等、児童の適応状態の改善に応じて柔軟に対応する。
- （2）巡回指導教員、在籍学級担任、保護者の三者で連絡帳を活用して児童のようす等を伝え合うことで連携を密にするとともに、特別支援校内委員会で組織的に指導の見直しを図る。
- （3）児童の実態を十分に踏まえ、学校生活支援シートと個別指導計画を連携して活用し、障害の有無に関わらず、すべての児童が安心して学習できる「共生社会」を学校全体で推進していく。